

最終処分場用地除草業務委託（グリーンオアシス大綱）仕様書

1. 目 的

本業務は、グリーンオアシス大綱の除草・集草・場外運搬・処分を行うものである。

2. 業務名

最終処分場用地除草業務委託（グリーンオアシス大綱）

3. 業務場所

グリーンオアシス大綱

4. 履行期間

契約締結日の翌日から令和7年12月19日

5. 除草面積

28,104 m² （内訳 平地13,273 m² 法面14,831 m²）

6. 実施回数及び業務実施日

（1）年2回の実施とする。

（2）実施時期については、1回目を7月頃、2回目を11月頃に予定するが、実施日は草の伸び具合等を考慮しながら、発注者及び受注者が協議して決定するものとする。

7. 除草業務内容

（1）除草・集草範囲

別紙「除草箇所位置図」に示す着色部分の除草・集草作業を行うものとする。

（2）除草時の注意事項

ア 除草機械の走行時における作業については、雨水配管（PP・塩ビ管等）、側溝、水道メーター等の設備の損傷に留意し作業を行うこと（受注者の過失により損傷した場合、受注者の責任において修理復元すること）。

イ 調整池法面除草に関しては、法面ブロックが濡れている場合非常に滑りやすくなるので安全に十分配慮し作業すること。

ウ 除草時、除草剤等の薬剤は一切使用しないこと。

（3）刈り草の処分

ア 刈り草は、除草後3日以上乾燥させ、集草し環境クリーンセンター内の指定場所へ運搬するものとする。（片道 L=10km 雨天時は除く。）また、環境クリーンセンターへの1日の搬入台数は、2tトラックで午前2台、午後2台を上

限とする。軽トラック換算では、午前４台、午後４台を上限とする。ただし、他の除草業務の搬入車両と重なった場合は、搬入台数を調整し減台することがある。

イ 上記アにかかわらず、刈り草を堆肥等としてリサイクルする場合は、受注者の負担及び責任において他の施設で処理することが出来るものとする。ただし、その内容について発注者に事前に報告し許可を得るものとする。

(４) 運搬時の注意事項

運搬に際しては、積荷をシート等で覆い、飛散防止策を施すこと。

８． 現場体制

- (１) 受注者は、技術及び経験を有する代理人を現場に常駐させ、所定の業務に従事させること。
- (２) 受注者は、適正な作業の推進を図るために十分な数の作業員を配置し、熟練を要する作業には相当の経験を有するものを配置しなければならない。また、資格を要する機械を用いて行う作業については、有資格者がこれを扱うものとする。

９． 業務計画書

- (１) 受注者は、本業務の実施にあたり、作業内容、手順、作業方法、安全対策などについての業務計画書を監督員に提出し、これを遵守し業務の履行に当たらなければならない。
- (２) 業務計画書には次の事項について記載しなければならない。

ア 計画工程表

イ 現場組織表（業務責任者、作業員名簿、業務に必要な資格の写し）

ウ 主要機械等

エ 作業方法

オ 緊急時の体制及び対応

カ その他必要事項

１０． 安全研修・訓練等の実施について

業務実施にあたっては、労働安全衛生法及び関係する諸法令を遵守し安全第一を心掛け、事故の発生を未然に防ぐよう万全の注意を払うこと。

１１． 権利義務の譲渡等の禁止

受注者は、委託業務に係る契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは承継させ、又はその権利を担保の目的に供することができない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りでない。

1 2. 再委託の禁止

- (1) 受注者の再委託は禁止するものとする。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。
- (2) 受注者がやむを得ず第三者に再委託を行う場合、再委託先に本委託業務に係る契約に基づく一切の義務を遵守させるとともに、発注者に対しての責任も負わせるものとする。

1 3. 保安設備の設置及び現場管理

- (1) 作業中の安全対策にあつては、現場環境に対応した十分な保安設備を施すこと。
- (2) 現場内の整理、その他現場管理には細心の注意を払うこと。
- (3) 現場内の作業用車両の通行に際しては、第三者等に十分な注意を払うこと。
- (4) 受注者が、監督員の指示に反して作業を続行した場合には、監督員は作業一時中止を命ずることができるものとする。
- (5) 作業終了時においては、速やかに使用機器等を搬出するとともに、作業現場付近を十分に清掃及び整理整頓し、また、整備地区内に作業用機械を乗り入れた際に地面を乱した場合には、作業終了後、必ず整地をすること。

1 4. 作業員の安全管理

- (1) 作業中は、ヘルメットや防護めがね等を着用するなど、十分な事故の防止及び作業員の安全を図ること。
- (2) 作業に使用する機材は、常に点検し、安全な整備をしておくこと。
- (3) 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)に準拠し、十分な事故の防止及び安全の徹底を図ること。
- (4) 万一事故が発生したときは、緊急連絡体制に従い、直ちに監督員及び関係官公庁等に報告するとともに、速やかに必要な措置をとること。

1 5. 完了検査

- (1) 受注者は、1回目及び2回目の業務を完了したときは、その都度下記に掲げる書類を発注者に提出しなければならない。
 - ア 業務完了報告書
 - イ 出来形書類(発生材処分伝票及び集計表等)
 - ウ 作業写真(作業前、作業中、完了)
 - エ その他発注者が必要と認めた書類
- (2) 受注者は、検査を受ける際には、受注者又は代理人が必ず立ち会うものとする。
- (3) 受注者は、検査に必要な図書などについて、発注者の指示に従わなければならない。

- (4) 検査は、受注者の提出した作業写真等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には、再度業務を行うこと。なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

16. 委託料金の支払い

委託料金の支払いは、1回目及び2回目の除草業務実施毎に行うものとし、受注者は、それぞれの除草業務完了後に本仕様書15の「完了検査」を受け承認を受けたうえで委託料の請求を行うものとする。

17. 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、故意又は過失により発注者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、発注者がやむを得ないと認めた場合は、この限りでない。
- (2) 受注者の責めに帰すべき事由により、受注者が第三者へ損害を与えたときは、直ちに監督員に報告するとともに、受注者はその損害を賠償しなければならない。

18. その他

この仕様書に定めのない事項については発注者と受注者が協議の上、定めることとする。